



今回のくろゆり通信では、1月15日に行われた大鹿小6年による砂防堰堤銘板のお披露目式についてと、今月終わった工事のお礼の挨拶及び、新たに始まった工事の紹介をします。

## 持社沢砂防堰堤 銘板お披露目

♪大鹿小学校6年生による揮毫です♪



※揮毫(きごう)とは  
(筆をふるって)字や絵をかくこと。

「持」「社」「沢」「砂」「防」の文字を生徒がひとり1文字、「堰堤」の文字を担当の先生がそれぞれ書いたものを自然石に直彫しました。

銘板を書いた小学生の一人に話を聞くと「一生残る文字なので、自分の持っている力を精一杯出して書きました。」と答えていました。

持社沢砂防堰堤	
完成	2016年1月
工事名	平成25年度 天竜川水系持社沢砂防堰堤
	国土交通省 中部地方整備局
	天竜川上流河川事務所
天端標高	EL=987.10m
堰高	H=14.5m
適用示方書	コンクリート標準示方書(2015年度版)
コンクリート配合	設計図書
	210/m <sup>3</sup>

堰堤はそこに住む人々を水害から守ってくれます。書いてある文字を見ると一人ひとり一生懸命に取り組んだのが分かります。みんなの思いのこもったこの堰堤は必ず、村人を守ってくれるはずです。そしてこの持社沢砂防堰堤は大鹿村の村民たちから愛される素晴らしい堰堤になったのではないかと思います。

砂防堰堤完成時には通常、堰堤名がわかるように銘板を作成し現地に表示するのですが、今回は施工業者(大協建設)から地元の大鹿小学校6年生に依頼し、卒業記念として堰堤名の文字を生徒一人一人に1文字ずつ書いてもらいました。書いてもらった文字は、現地で採取された自然石に彫り銘板としました。



大鹿村小学校6年生のみんなは学校の習字の授業を使い綺麗でかっこいい字を書く練習をしていました。生徒がインタビューで言っていた通り今回石に書いた字は一生消えません。将来、持社沢堰堤に来た時今日の事を思い出し児童5人と担任の先生の絆はなくなるのではないのではと思います。

「裏面もご覧下さい。」

# 工事情報

## 完成工事



### 平成25年度 天竜川水系 持社沢砂防堰堤工事

平成26年3月より開始した砂防堰堤工事が本年1月をもって完成いたしました。

地質条件・気象条件等厳しい環境のなか無事故・無災害で工事を終了することができました。この間、地元の皆様には大変お世話になり感謝いたします。

また、先日行われた銘板お披露目式で御協力して頂きました大鹿小学校の皆様、小渋川砂防ステーションの皆様方には、お力添えくださいましたことを厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。



現場代理人 古田 章  
監理技術者 古屋敷 康博



大協建設株式会社

## 新規工事

### 平成27年度 天竜川水系小渋川管内整備工事

工期：平成27年12月16日～平成28年3月31日

小渋川管内の整備工事がはじまりました。地域の皆様、工事へのご理解とご協力よろしくお祈いします。

#### 工事内容

小渋川管内砂防事業は昭和12年(1937年)から本格的に始まり今年で79年になります。

そのため砂防施設の多くは老朽化が心配される為、整備・点検を行い状況を確認しています。

当社では点検業者と協力し、より安全に効率良く点検ができるような施設作りをおこなっております。

安全第一・無事故無災害を目標に施工しておりますので、よろしくお祈いします。



・このような箇所を上り下り出来るよう丸太で階段を作ります。



・丸太は当社の環境方針に基づき長野県産材間伐材を利用します。



・ただいま丸太を運び込めるように堰堤内の伐採しております。

#### <環境方針>

当社は美しい信州・飯田を背景に育てられた企業として、みどりと心豊かな地域づくり



現場代理人  
石黒良光



主任技術者  
藤本賢太郎

確かな技術と実績で躍進します

**KOIKE** 小池建設株式会社  
Civil Engineering

本社TEL 0265-28-8100

小池建設株式会社は、総合建設業で地域の発展に貢献する建設会社です。熟練の技術と誠心誠意の心をもって、最新の工法と発想で事業の完成と新しい生活環境を創造します。